

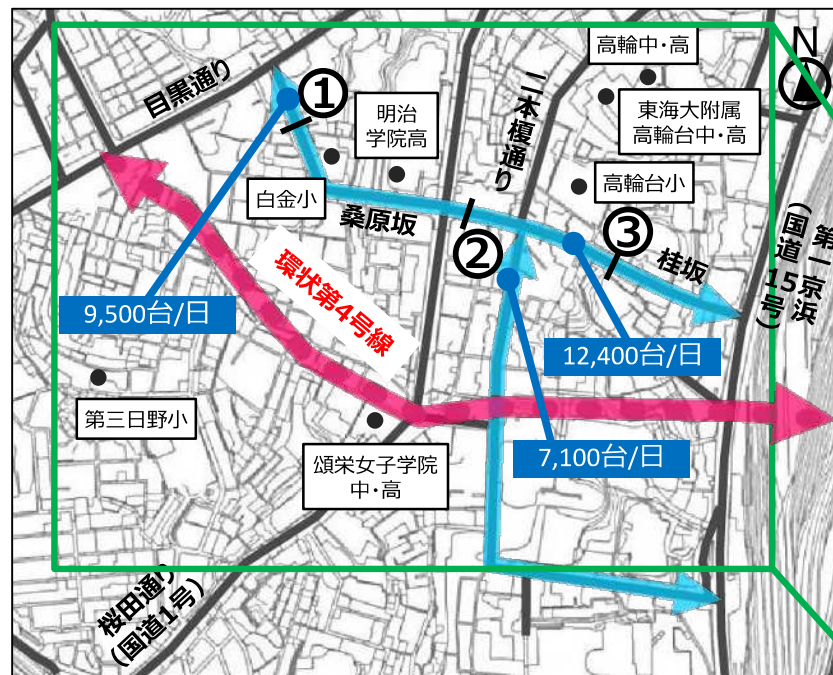


交通

地域の現状・課題

- 目黒通り、桜田通り、第一京浜を連絡する東西方向の道路が少ないため、それらを結ぶ桑原坂や桂坂等の生活道路へ通過交通が流入しています。
- これらの生活道路は、通学路に指定されており、狭い歩道に歩行者や自転車が混在し、その脇をバス等の車両が通行している状況です。
- 生活道路に流入する通過交通の抑制と安全な交通環境の確保が課題です。

白金台・高輪地区周辺の交通状況



※ 生活道路の交通量は平成28年2月実測値(台/日)

白金小・高輪台小の通学路(学校指定)



※ 平成27年度現在



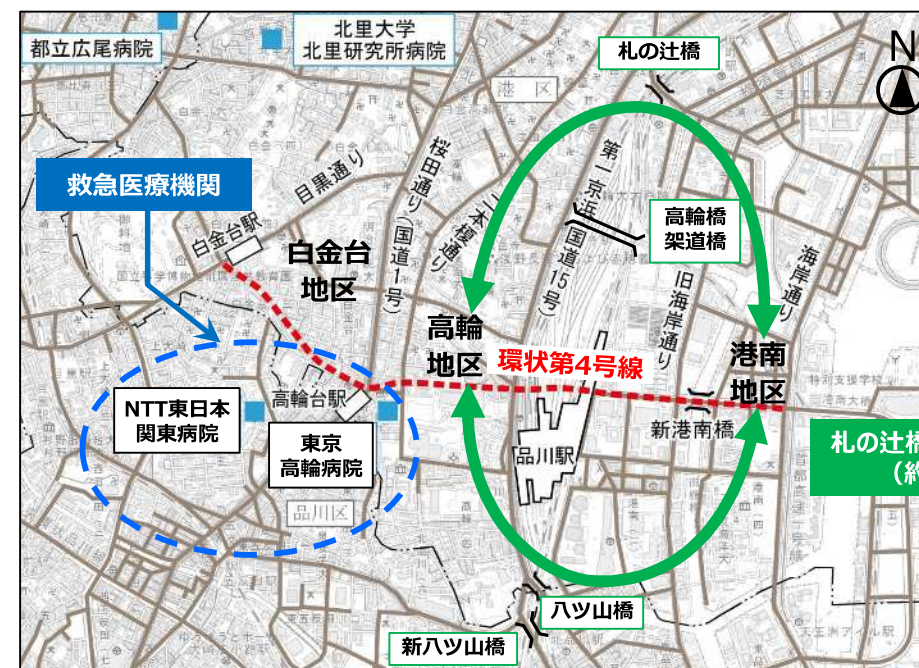
暮らし

地域の現状・課題

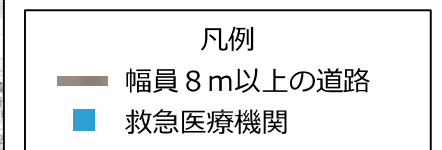
- 白金台・高輪地区と港南地区の東西の連絡は、札の辻橋、八ツ山橋、新八ツ山橋、高輪橋架道橋に限られています。
- 円滑に東西を行き来するためには、約2km離れている札の辻橋と八ツ山橋・新八ツ山橋を通ることとなり、大きく迂回する必要があります。(高輪橋架道橋は天井が低く車両の通行に制限があります。)
- 環状第4号線の計画地付近(白金台・高輪地区)には救急医療機関*が立地しています。
- 1分1秒を争う救命活動のためには、救急医療機関までの所要時間の短縮に資する環境整備が課題です。

*救急医療機関：事故その他の理由による傷病者のうち、救急隊が緊急に搬送する必要があるものについて、収容及び治療を行う医療機関

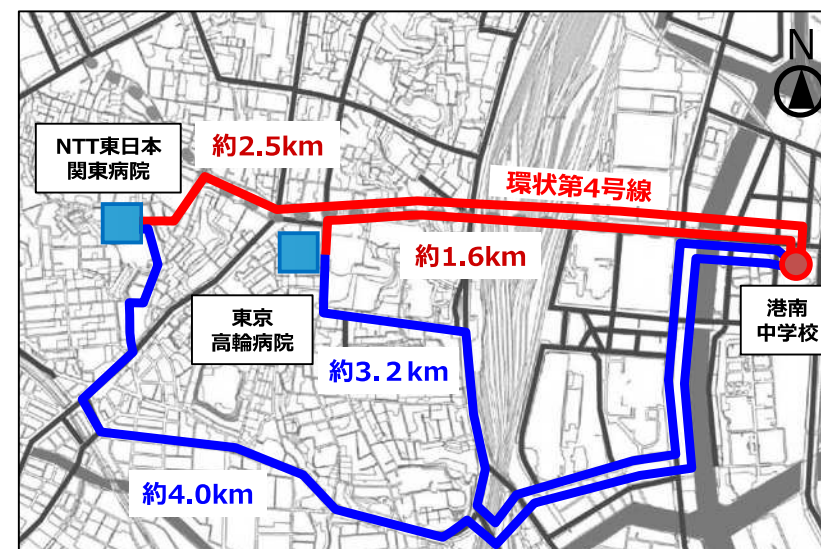
白金台・高輪・港南地区の連絡の現状



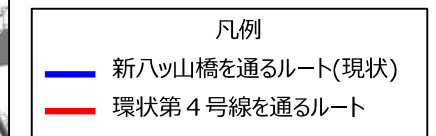
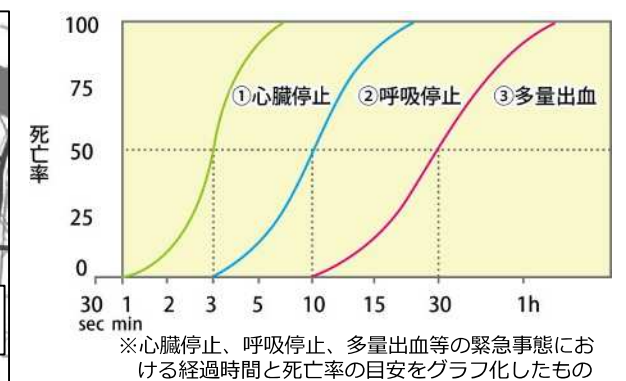
高輪橋架道橋の状況



港南地区から救急医療機関へのアクセス



カーラーの救命曲線



防災

地域の現状・課題

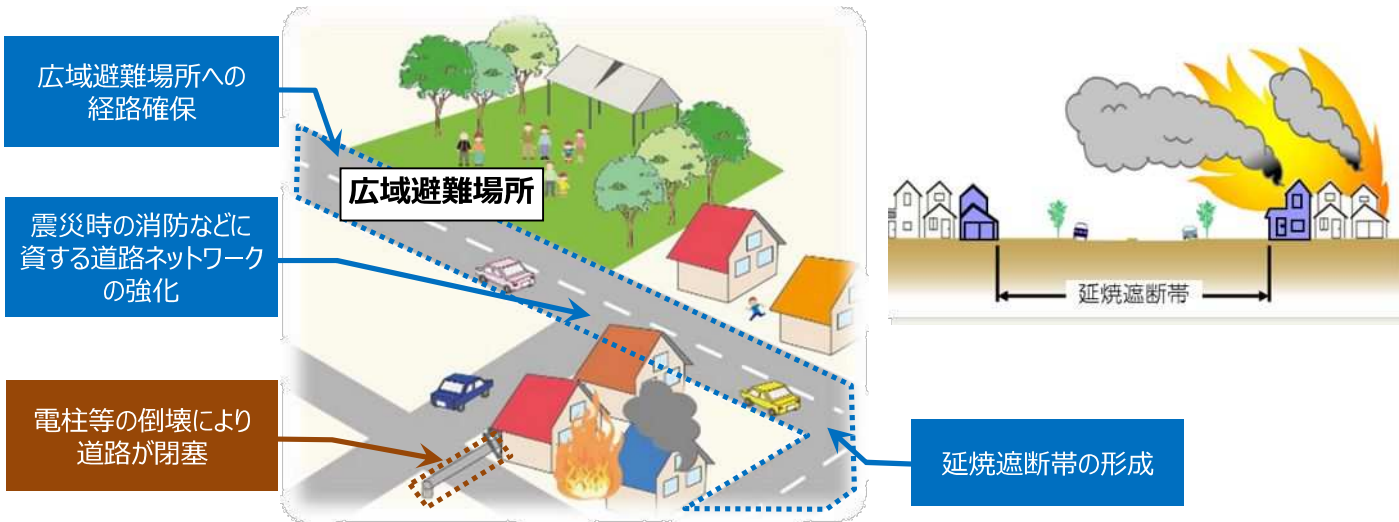
- 白金台・高輪地区周辺は幅員 8 m 以上の道路が少なく、災害時には電柱や家屋の倒壊による道路の閉塞が懸念されます。
- 広域避難場所への安全な避難経路の確保や、震災時の消防、救護活動、物資輸送に資する道路ネットワークの強化が課題です。

白金台・高輪・港南地区周辺の幅員 8 m 以上の道路と広域避難場所への避難

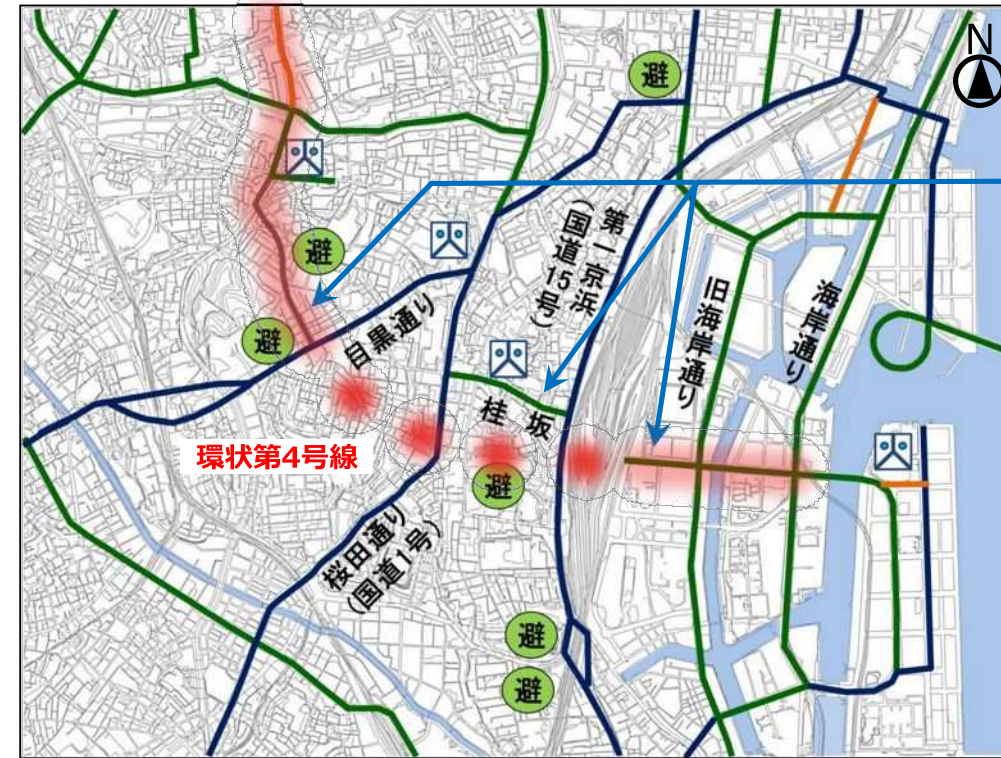


広域避難場所への避難イメージ

延焼遮断帯の形成イメージ



緊急輸送道路の指定状況

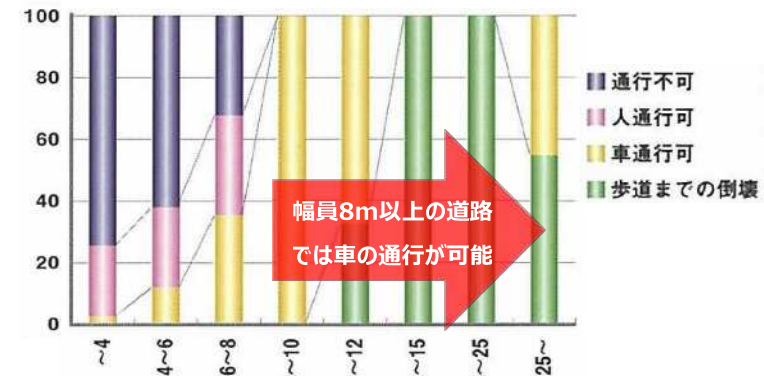


環状第 4 号線の計画地付近には、消防署や広域避難場所などの災害時の拠点となる施設が立地しているが、アクセス性が不十分

【参考】

阪神・淡路大震災における道路幅員と道路閉塞との関係

倒壊被害が甚大であった国道2号沿線の26haを対象とした調査結果



資料) 新時代のまちづくり・みちづくり(都市整備研究会)

阪神・淡路大震災における道路沿道の建物倒壊状況



資料) 地震予知総合研究振興会

○ 幅員8m未満の道路では、写真に示すとおり沿道建物の倒壊等により、人や車の通行できない区間がありますが、8m以上の道路であれば通行が確保されています。

広域避難場所：震災時の火災に対して安全な面積が確保され、住民等が避難できる安全な場所

地区内残留地区：不燃化が進んでおり、広域的な避難を要しない地区

緊急輸送道路：災害時に安全な避難路や救援物資の輸送路として機能する道路